

「設立までの経緯」 (企業名、役職名は当時のものです)

1984年(昭和59年)11月 「ヘルスケアサービス研究会」設立

三菱化成鈴木永二会長が米国製薬業界の動向に触発され、明治生命土田社長、三菱商事三村会長の各氏に提唱したことで、高齢社会に関する諸問題を検討する「ヘルスケアサービス研究会」がスタート。三菱グループから三菱化成、三菱油化、明治生命、三菱商事、三菱レイヨン、三菱地所、東京海上の7社が参加しました。

1986年(昭和61年)5月 「ホームケア推進協会」(任意団体)設立

高齢者サービスの内、当初の切り口として「在宅介護サービス」のあり方などを中心にユーザーニーズの把握、介護技術のレベル確保などを研究するため「ホームケア推進協会」を設立。三菱金曜会の呼びかけによって、三菱グループ11社が参加しました。

理事長(非常勤)	工藤 勇(明治生命)
常務理事(常 勤)	高森 晃(三菱商事)
常務理事(非常勤)	若林健市(三菱化成)
理事(非常勤)	三菱油化、三菱銀行、三菱信託、三菱電機、三菱地所、東京海上、 麒麟ビール、三菱レイヨン
事務局長(常 勤)	小畑公則(明治生命)

1992年(平成4年)8月

三菱化成(鈴木精二会長)、明治生命(土田晃透会長)、三菱油化(吉田正樹社長)の3社が三菱グループ主要各社へ呼びかけて「財団法人ダイヤ高齢社会研究財団」の設立を提案(提案時の仮称は「三菱高齢社会研究財団」)。

その基本理念として「高齢社会における社会的課題を民間の立場から実践的に解決することを目的とすること」「新しいシステム、とくに地域ケアシステムを構築するインキュベータ(孵卵器)、オピニオンリーダーとしての役割を發揮すること」を掲げ、幸せで安心できる長寿社会の実現をめざし、三菱グループによる新しい社会貢献事業としての財団設立をめざしました。

1993年(平成5年)3月23日

財団設立発起人会を開催。厚生省老人保健福祉局(当時)へ財団設立許可を申請しました。

1993年(平成5年)6月18日

厚生大臣（当時）から設立の許可があり、財団が設立されました。

●設立時の財団概要

設立時の概要を表にまとめると次のようになります。

名 称	財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団
所 在 地	東京都文京区本郷三丁目28番8号(柴田書店ビル6階)
設 立 日	1993年(平成5年)6月18日
目 的	高齢社会の諸問題に対する実践的な調査、研究、システム開発などを通じ、高齢社会における保健、医療および福祉などの分野の課題解決に寄与する。
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none">・ 行政、医療機関、民間団体など関係機関が一体となった新しい地域ケアシステムの構築のための調査・研究・ 高齢社会における新しいニーズの把握による高齢社会諸問題の解決へ寄与・ 「しあわせで活力ある長寿社会」の実現に貢献する調査研究
財 団 の 特 色	<ul style="list-style-type: none">・ 研究機関であること。研究助成を目的とするものではなく、みずから研究し提案する。・ 実践的な研究を志向すること。モデルフィールド部門で看護婦、ヘルパー等のスタッフがサービスを提供しつつデータの収集・分析するという現実を踏まえた研究を行う。・ こうして得られた研究成果を広く社会に提案していく。
会 員 ・ 基 本 財 産	<ul style="list-style-type: none">・ 当初 三菱金曜会会社29社。その後1社ずつ増減し、現在29社。・ 基本財産 543百万円 *平成26年4月1日現在 28社